

👉 **GAPの取組**  
**(団体認証)**

# (有) 熊田製茶

<b>ASIAGAP</b>
茶

## <基本情報>

所在地：鹿児島県薩摩郡さつま町求名9551

経営：熊田製茶：農業女子プロジェクトメンバーの熊田明日香さんご両親の3人で有機茶の生産から加工まで行っている。

☆栽培面積：GAP認証取得園703a

(祖父の代の昭和45年から茶の生産開始、平成14年から有機栽培)

美香園：さつま町・薩摩川内市の若手茶業者の「薩摩さみどり会」の熊田淳人さん夫婦ご両親の4人で有機茶の生産から加工まで行っている。

☆栽培面積：GAP認証取得園580a

**(有) 熊田製茶は熊田製茶と美香園の共同経営の製茶工場である。**



## <GAPの取得のきっかけ>

取引先からの要望と海外へ目を向けた時に必要だと感じた。

平成14年から有機JAS認定

→平成30年2月ASIAGAP茶 Ver.1 1団体認証取得

→令和元年2月 ASIAGAP茶 Ver.2. 2団体認証取得

## <GAP認証取得で苦労したこと>

○従来から有機JASとISOを取得していたため、様々な様式の作成はかなり楽だったが、農場2件での団体取得のため、準備が大変でした。



## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

☆自分達の中で意識付けができるようになったことが一番です。

☆茶商からの売り先に合わせたリクエストに対応できる体制ができたこと。



問合先：電話・FAX：熊田製茶：0996-57-0875  
美香園：0996-57-0355

👉 **G A P**の取組  
(個別認証)

# 有限会社 松田農場

**JGAP**

きんかん

## <基本情報>

農場所在地 鹿児島県 薩摩川内市祁答院町藺牟田1133番地

農場概要 きんかん ハウス1.1ha 路地0.2ha

### 経営理念

「**食品安全 環境保全 労働安全 人権福祉**」に配慮した  
農場運営にあたる



当社ではいち早くJGAP認証を取得し、安全・安心で美味しいきんかんの生産・販売を行っています。生で美味しく食べられるきんかんを是非ご賞味下さい。

## <GAPの取得のきっかけ>

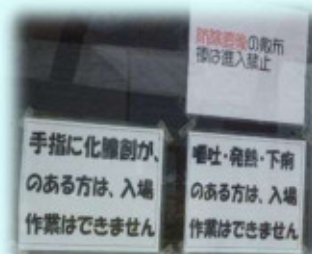
「**安全栽培の担保を確実にしたかった。**」

2013年11月にJGAP青果物を初取得。

現在、**JGAP青果物2016**を継続取得中。

## <GAP認証取得で苦労したこと>

- 1、栽培以外の環境整備（資本投資）が必要だった。  
⇒ 農薬 肥料 機械 などの倉庫、休憩室、  
トイレ 駐車場
- 2、全員で勉強会を行う時間を、多く費やさなければならなかった。



## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- 1、**チェック項目に従うことで、頭が整理された。**
- 2、**農場運営に緊張感が生まれた。**
- 3、**GAPには、減農薬の目標値などはうたっていないが、社内目標値を決めることで、減農薬栽培ができていった。**
- 4、**年 月 週の計画会議を行い論議することで、社内の共通認識を持てた。**

【問合せ先】 Tel : 0996-56-0426 Fax:0996-56-0545  
H P : <https://www.mazdafarm.jp/index.html> ネット販売有り

👉 **GAPの取組**  
**(個別認証)**

# 株式会社 ローソンファーム鹿児島

～ 環境に配慮し、地域に根ざした安心・安全な農業を実践 ～

<b>JGAP</b>
だいこん、にんじん、かんしょ

### <基本情報>

所在地：鹿児島県肝属郡東串良町  
 設立：2011年4月  
 構成員：役員2名、社員1名、外国人実習生7名  
 資本金：500万円

### <経営概況>

栽培面積：だいこん6ha、にんじん2ha、かんしょ1ha・・・GAP認証作物  
 キャベツ4ha、ごぼう2ha、(水稻栽培も検討中)

### <経営の理念>

株式会社ローソンファーム鹿児島は、**安心・安全な食の供給者として、持続可能な環境保全農場の実践者として、農業を通じて社会・地域に貢献します。**



ローソンファーム鹿児島の片平代表

### <(株)ローソンファームにおけるGAP取組みの考え方>

1. 消費者の皆様へ安心・安全な生鮮品を食べて頂きたい。
2. ローソングループでは、自社農場で安心・安全な青果物の生産を行っていることを消費者にアピールしたい。
3. 農業の産業化を行い、地域雇用を発生させ、地方創生を行いたい。  
 上記を実践のためには、労働環境を整え、働きやすい職場にする必要があることから、

2014年11月、ローソンファーム社長会にて、JGAPが日本の農業に最も適した生産工程管理と位置づけ、ローソンファームでのJGAP導入を決定!!

(株)ローソンファーム鹿児島は、2016年8月、JGAP認証を取得

### <GAP取得で苦労したこと>

- 圃場が点在しているため、紙ベースでは作業記録の管理が煩雑。このため、市販の栽培管理ソフトを活用し対応
- 従業員への周知
  - ・収穫から出荷までのルールを事務室に掲示
  - ・作業前や作業時に、その日作業する圃場の危険ポイントを伝達

### <GAPの効果>

- 従業員が安心して働ける環境整備 ➡ 従業員の事故ゼロ
- 農薬の飛散防止を徹底
- 異物の混入防止を徹底
- 農薬等資材の適切な在庫管理 ➡ コストの削減

### - (株)ローソンファーム鹿児島の目標 -

(株)ローソンファーム鹿児島は、JGAPを導入し、良い農業の実現を宣言します。

- ① 安全で、安心な、農作物を消費者にお届けします。
- ② 環境に配慮した農業を心がけ、地域と調和した事業を推進します。
- ③ 効率的な農業生産を行い、原価低減に努めます。
- ④ 従業員の安全と福祉に気を配った農業を推進します。



### (株)ローソンファーム鹿児島の4S活動

整理・不要なものは捨てる  
 整頓・必要な物の整理分類  
 清掃・身近なところをきれいに清掃し、「見える」ようにすること  
 清潔・清掃することできれいな状態を保ち、「汚れ」ないようにする



👉 **GAPの取組**  
**(個別認証)**

# 農事組合法人 菊永茶生産組合

<b>ASIAGAP</b>
<b>JGAP</b>
茶

### <基本情報>

設立日：昭和47年11月22日  
 所在地：南九州市知覧町塩屋23649  
 組合員数：35名（平均年齢51歳）  
 茶園面積：161ha  
 品質目標：

- 1.私たちはニーズに合った安心・安全でクリーンなお茶を作ります。
- 2.私たちはおいしいお茶をつくるために仕事の仕組みを継続的に改善します。
- 3.私たちは食品を作っていることを自覚し、環境に配慮したお茶を作ります。
- 4.私たちは「生産性の向上」「組合員の生活の向上」「組織体制の強化」に取り組みます。



### <GAPの取得のきっかけ>

- ◆ 食に対する意識改革の声
- ◆ 消費者の声に近づく必要性
- ◆ 取引先からの要望

2008年11月 ISO9001取得  
 2009年3月 JGAP取得  
 2016年11月 ASIAGAP

### <GAP認証取得で苦労したこと>

#### ◆ 取得準備段階

- ・GAPの必要性を理解してもらうための教育
- ・組合員から一人の脱落者も出さない取り組み  
パソコン研修、個別指導、農場が記入しやすい帳票作り等
- ・イラストを入れたわかりやすいマニュアルの作成

#### ◆ 取得後

- ・GAPのスキルアップ  
取引先による監査の実施・指導  
不適合の水平展開や情報の共有化
- ・若手内部検査員の育成  
HACCP, 食品衛生講習会参加



### <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

#### ◆ 取引先の確固たる信頼確保

- ・相対取引量が増加（24% ➔ 73%）し、新規顧客も増えた

#### ◆ 組合員の意識変化

- ・「ヒヤリハット」による改善提案で、労働災害を出さない意識が高くなった
- ・「衛生教育」の実施により、食品を扱っている意識が高くなった
- ・作業ごとの責任者を明確にすることで、組織の強化が図れた

#### ◆ 輸出への取り組み

- ・H25年から各国の基準に合わせた農薬試験を行い、農薬体系を確立した（令和元年 米国や台湾向け92 t）



連絡先：(0993)85-3271  
 HP <http://kikunaga-cha.com/>

徹底した品質管理  
 (菊永茶生産組合HPより)

手 <b>GAPの取組</b> <b>(個別認証)</b>	だ い き ち <b>大 吉 農 園</b>	<b>ASIAGAP</b>
		キャベツ、枝豆、ケール、プチヴェール、 ビーツ、ズッキーニ、玉ネギ、トレビス

<基本情報>

所在地：鹿児島県指宿市  
 構成員17名：ご夫婦2名+パート15名（キャベツ班6名、ケール班5名、枝豆班4名）  
 栽培面積：37.3ha（キャベツ25ha、枝豆8ha、ケール3.8ha、プチヴェール0.5ha）  
 【経営理念】「消費者目線にたち、我が子に喜ばれる野菜づくり」



私  
 たち  
 は  
 キャ  
 ベツ  
 班  
 です。

<GAPの取得のきっかけ>

- ◆ 農産物のブランディング
- ◆ 知名度の向上
- ◆ 輸出先からのニーズ



2016年2月 JGAP取得  
 日本能率協会によるJGAP認証第1号  
 2020年2月 ASIAGAP取得予定

<GAP認証取得で苦労したこと>

- ◆ 生産履歴の管理
  - ・ 何時、誰が、何をしたら日報に記帳
  - ・ 作業日報をエクセルでデータ化
- ◆ 労働環境の整備（ハード面の設置にかかる導入経費）
  - ・ 農薬保管庫、休憩室、トイレ（屋外、作業場）の増設等
- ◆ リスク評価（食品安全、農作業安全等）
  - ・ 全員でリスクと対策を検討し、情報を共有化

例：借地で初めて作業するほ場の場合  
 はどこがどう危険か、みんなでリスト  
 を作成し、チェック  
 ・トラクターの転落事故危険箇所など



みんなでチェック

<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- ◆ 取引先が増えた（販路拡大：2社→10社）
- ◆ 整理整頓や生産履歴の記帳でコスト削減
  - ・ 整理整頓（5S）により、作業場が整理され、**作業効率がアップ**
  - ・ 農薬や肥料の在庫管理で**無駄な支出が減少**
  - ・ 作業前点検と作業後のメンテナンスで**機械トラブル減少**
- ◆ 従業員の意識の変化
  - ・ 従業員自らが働く中で問題点に気付くようになり、**事故防止に役立つ**
- ◆ 労働環境の整備
  - ・ 労災加入による**雇用環境の改善**



作業後のメンテナンス



整理整頓

【お問合せ先】 TEL : 080-6433-6860  
 E-mail daikichifarm@gmail.com

👉 **GAPの取組**  
(団体認証)

## 有限会社 ハラダ製茶農園

GLOBAL G.A.P.

ASIAGAP

茶

### <基本情報>

所在地：鹿児島県熊毛郡屋久島町安房2457-43

社員10名

### <農場概要>

茶園35.4ha（平成30年10月現在）（やぶきた31%, さえみどり29%, ゆたかみどり16%, あさつゆ9%他 全11品種栽培）



### <ハラダ製茶のこだわり>

「創業100年を超えて、美味しさを安全に、という品質と日本の「お茶」の新たな可能性を求めて。」

### <GAPの取得のきっかけ>

食品工場で実践してきた生産管理手法(GMP)を茶栽培の工程から活用し、取引先からの一層の信頼を得たいという思いからGAPに取組んだ。

平成20年日本の緑茶業界で初のGLOBAL G.A.P.とJGAPの認証を取得。

### <GAP認証取得で苦労したこと>

■GLOBAL G.A.P.しか規格がない状況で、取り組みをスタートする。  
このため、GLOBAL G.A.P.独特の要求体系への理解に苦労する。

例えば…

- ◎ 海外の農業体系（経営者と作業員がいる大規模経営）を想定した規格になっている
- ◎ 英語から日本語に翻訳されるなかで、規格の本質がわかりにくくなっている
- ◎ IPM (Integrated Pest Management) やPPP (Plant Protection Products) などの聞きなれない言葉が多い
- ◎ 海外では“茶”といえば“紅茶”が主流で、紅茶の製造をベースにした規格内容になっている
- ◎ ISO、FSSC22000とは異なり、一般原則 (GR) やAnnexといった関連文書の比重が大きく、これらの理解も必要である

### <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

#### ◆自らの仕事に対する自信

生産工程を整理、管理することによって、間違いがない作業ができる、間違えていれば修正することが確実にできる。

#### ◆リスク管理への理解 (リスク=発生頻度×重篤性)

リスクの定義が明確となり、生産工程でリスク管理をするという見方が広まった。その結果、食品安全・作業効率の向上に繋がった。

#### ◆法規法令の遵守

農業に必要な法令を見直し、整理することでこれまで以上に地域社会との繋がりが深まった。例えば、水の採取届、労働安全講習、燃料の取り扱いなど。



【お問合せ先】 TEL:0997-46-2369 Fax:0997-46-4035

HP <http://www.harada-tea.co.jp/>



👉 **GAPの取組**  
**(個別認証)**

# 株式会社 皆村農園

**GLOBALG.A.P.**

ばれいしょ

## ＜基本情報＞

所在地：鹿児島県大島郡和泊町（沖永良部島）  
構成員：常時4名，臨時雇用40名/年

## ＜農園概要＞

栽培面積：ばれいしょ20ha（ばれいしょ専作）



## ＜GAPの取得状況＞

平成26年3月 GLOBALG.A.P.認証取得  
平成28年12月 K-GAP認証取得

## ＜GAP認証取得で苦労したこと＞

- ◆**従業員の意識改革**
  - ・毎朝のミーティングと定期的な教育
- ◆**労働環境の整備**
  - ・作物保管庫，農薬保管庫，トイレの増設
  - ・選果場等の定期的な清掃とその記録
- ◆**リスク評価**
  - ・リスク評価の作成と定期的な見直し
- ◆**生産履歴の管理（作業者，天候，作業内容，使用資材，使用機械等）**
  - ・退勤時に作業者による作業記録の記入，作業記録のデータ化



## ＜GAP認証取得による効果や改善されたこと＞

- ◆取引先の増加 **(3社→6社)**
- ◆共販から個販になり，**品質向上への意欲が高まった。また，契約することで価格が安定した。**
- ◆教育訓練を行うことで，**従業員の意識が変わり，より安全に気を付け，情報交換が増え，作業効率が上がった。**
- ◆農薬や肥料の在庫管理で，**無駄な支出が減少した。**
- ◆整理整頓により**作業効率が上がった。**
- ◆生産履歴を詳細に記録することで，**圃場ごとの生産性が把握でき，不作地への対応ができ，秀品率が上がった。**

H P <http://www.minamuranouen.net/index.html>

(ネット注文もできます！)

TEL & FAX : 0997-92-1211、担当 : 090-9656-8903

👉 **GAPの取組**  
**(団体認証)**

**J A 種子屋久**

**西之表市野菜部会協議会青果用さつまいも部会**

**JGAP**

かんしょ

**<基本情報>**

所在地：鹿児島県西之表市

構成員：7経営体

- GAP認証品目：かんしょ（安納紅、安納こがね、種子島ゴールド）
- GAP認証品目の栽培面積 28ヘクタール

**【経営理念】**

- 常に「**食品安全、環境保全、労働安全、人権福祉**」に配慮しよう！



**<GAPの取得のきっかけ>**

- 取引先の要望
- 販売面での付加価値



**平成30年9月**  
**J G A P 取得**

**<GAP認証取得で苦労したこと>**

◆ **部会内の合意形成**

- 部会員214名の平均年齢は65歳以上と高齢化のためJGAPは「難しい」等のイメージがあり、部会役員を中心に認証を取得

◆ **リスク評価への理解**

- 自ら考えるべきものであり、理解に苦労

◆ **団体事務局の負担**

- 記帳様式等、必要な書類について定められたものがなく作成に苦労



**<GAP認証取得による効果や改善されたこと>**

■ **生産者意識の変化**

- 認証を取得したことへの自信
- 生産する農産物への自信

■ **整理整頓による作業の効率化**

- 整理整頓が徹底され、農作業準備及び後片付け等の時間短縮により作業効率が向上

■ **差別化販売**

- 取引先からのニーズが通常商品より高い
- 販売先で栽培履歴シールを貼付され、差別化販売されている



**<今後の課題>**

GAPに取組むベースはできたことから、今後はスナップエンドウに取組を拡げたい。



### 👉 GAPの取組 (個別認証)

## 有限会社大崎農園

GLOBAL.G.A.P.

葉ねぎ、大根、  
キャベツ 他

#### <基本情報>

所在地：鹿児島県曽於郡大崎町

構成員：役員3名・社員40名

- GAP認証品目：葉ねぎ・大根・キャベツ他
- 栽培面積 130ヘクタール（2018年度作付延べ面積）
- 露地栽培+葉ねぎ施設の複合経営

#### 【経営理念】

- 原点はモノづくり。安全な土壌を育て、感動する美味しさを求める



3名で脱サラ新規就農 → 法人設立平成14年



#### <GAPの取得のきっかけ>

取引先の要望



平成26年5月  
GLOBAL.GAP.取得

#### <GAP認証取得で苦労したこと>

- ◆ 農場でのリスク評価を検討・対策をとること
  - 農業生産における圃場リスク評価し事後の防止
  - 全社員にGAPを共有すること（気づき）
  - 記録を整備し保管し、データを活用すること
- ◆ 環境整備
  - 農場や選果場における基準適合
  - 水洗トイレや手洗い所の整備
  - 社内アンケートを実施し改善する
  - 整理・整頓（5S活動の推進）
  - 出荷加工センターの環境整備



#### <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- 認証取得の苦勞をプラスにとらえる！
- 作成書類が多い→**毎年の蓄積を生かし活用**
- 圃場・環境整備に労力・コストがかかる  
→**仕事の効率・圃場の美化がアップ**
- 審査費用が高い→**リスクを減らす保険料**
- 生產品目の輸出の実現→**アジア地域に販売**
- 毎年更新→**毎年成長できる！**
- 社員全員の意識の向上→**生産性向上・安全的な配慮**

#### <今後の展望>

2017年5月からベトナム ダラット高原で試験栽培をスタート。アジアに挑戦。

「**玄関を開けてこの広いアジアのマーケットに 挑戦!**」

お問合せ先：(0994) 76-4043  
HP [http:// www.oosaki-farm.com/](http://www.oosaki-farm.com/)



👉 **GAPの取組**  
(個別認証)

# 農業生産法人 (有) 片平農産

JGAP

だいこん

## <基本情報>

所在地：鹿児島県曾於郡大崎町永吉2381-1

構成員：30名（役員4名、従業員24名、パート2名）

栽培面積：だいこん 35ha

## 【経営理念】

より良い農業、より良い会社経営の維持のため、環境と人に優しい農業を展開し、ただ農業をするだけではなく、地元の雇用拡大や遊休農地解消を通して社会貢献を図る。

「土づくり、ものづくり、人づくり」



## <GAP認証取得のきっかけ>

○鹿児島県版GAP（K-GAP）を13年前から取得していたが、**レベルアップ**と取引先からの要望によりJGAP認証取得。

⇒ **令和元年2月 JGAP個別認証取得**

## <GAP認証取得で苦労したこと>

○従業員がGAPの取組に対して同じ認識になるまでに時間を要した。

○適合基準を定着させるための意思統一。

○作業中のデータ入力及び管理の徹底。

○リスク評価に関する対応策の資料作成。



## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

○審査の受験が、従業員の自発的な学習や意識向上に繋が  
り、従業員教育的にも良かった。

○従業員から、作業上の注意喚起を発するようになり、事故防止、農薬使用、肥料の使用に対する意識改革ができた。

○販売先との**契約取引が増加**。

## 「今後の意向」

○輸出を視野に入れた**販路拡大**。

○**ASIAGAPの認証取得**。



## <問合せ先>

TEL：0994-63-1117

<https://www.katahira-nousan.com/company>

👉 **GAPの取組**  
(団体認証)

# 大崎町キャベツ出荷組合



JGAP

キャベツ

## <基本情報>

所在地：鹿児島県曾於郡大崎町永吉2381-1  
従業員：4戸（法人2 + 個人2）  
栽培面積：キャベツ 57.8ha(JGAP認証取得面積)

## 【経営理念】

大崎町キャベツ出荷組合に加入している全ての農場が法令を遵守し、消費者にも従業員にも安全で環境にやさしく、みんなが働きやすい農場を目指し、日々精進する。



## <GAPの取得のきっかけ>

近年の生活スタイルの変化による**食の外部化の発展により、加工・業務用野菜の需要が伸びる情勢に、生産者が一体となることで、そのスケールメリットを活かした、キャベツ産地の維持拡大と生産者の所得向上を目的。**

⇒ **令和元年3月 JGAP団体認証取得**

## <GAP認証取得で苦労したこと>

- コンサルを入れずに自分たちで勉強しながら取り組んだため、団体認証の適合基準を理解することに時間を要した。
- 認証取得までの経費。
- リスク評価**では、**項目が多く理解に時間を要した。**



## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- GAP認証取得を契機に、実需者との**信頼関係が構築**され、安定した契約取引となった。
- 定期的に生産者間の情報交換を行うことで、品質向上や安定生産が図られ、取引先からの**クレームが年々減少**。

## 「今後の意向」

- GAPの普及**を図るため、**大崎町内外の生産者への加入**推進。
- キャベツの品質向上による所得向上。
- 実需者が**ASIAGAP認証取得を求めた際、迅速に対応できる体制を整える**。
- 国内需要が減少した場合でも、経営安定が図られるよう実需者との更なる信頼関係を構築する。

## <問合せ先>

TEL : 0994-63-1117



👉 **GAPの取組**  
(個別認証)

# ヘンタ製茶有限公司

**ASIAGAP**

茶

## <基本情報>

所在地：鹿児島県霧島市

構成員：従業員12名：周年雇用6名（うち販売事務2名）、臨時雇用7名

栽培面積：25ha

### 【経営理念】

「家族・スタッフと共に力を合わせ、一人でも多くの方に親しまれるお茶屋でありたい」



## <GAPの取得のきっかけ>

- ◆ 自社商品の販売額増加 → 2016年10月 JGAP取得
- ◆ 取引先からの要望 → 2018年10月 ASIAGAP取得

## <GAP認証取得で苦労したこと>

- ・ 栽培～出荷までの各工程のリスク評価
- ・ 従業員への周知  
(農場、工場での衛生面や安全面に対するルール作りに苦労した。飲食場所、休憩場所の確保など。)
- ・ 農場、工場、倉庫などの整理整頓
- ・ 製造工程で使用する資材等の安全性や規格を把握すること。

## <GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- ・ 異物混入や衛生面に対する意識が変わった。
- ・ 資材の在庫管理によって無駄が少なくなった。
- ・ 労務管理など雇用環境の改善ができた。
- ・ 生産性の向上
- ・ 有機JAS認証と合わせ、販売面での信頼が向上した。
- ・ リスク評価をすることによって、何をすべきか何が必要か、安全・安心に対する意識が改善された。

## <今後の展望>

- ・ 現在、米国、フランス、香港、ドバイに有機抹茶と有機煎茶を輸出している。今後さらに、輸出量を増加したい。



お問い合わせ先：(0995)77-2777  
HP <http://www.henta.jp/>

👉 **GAPの取組**  
**(団体認証)**

# JAきもつきミニトマト部会

**JGAP**  
ミニトマト

## ＜基本情報＞

所在地：鹿児島県肝属郡南大隅町根占川北1729

構成員：3戸（法人2、個人1）

栽培面積：1.7ha

## 【経営理念】

環境制御技術を導入し、ハウスの温度や湿度、日照や二酸化炭素などを管理するとともに、土壌に太陽熱を利用した消毒を施すことで、消毒液を使わない安全性の高い栽培に取り組んでいる。

味にこだわった、美味しいミニトマトの生産。



## ＜GAP認証取得のきっかけ＞

○鹿児島県版GAPを部会として平成19年から取組。

○販売先の7割は関東圏であり、**県版GAP認証だけでは他産地との競争力が弱いと感じた。**

○今後とも**販売価格を維持**したい。

**JGAP認証取得 ⇒ 令和2年1月**



## ＜GAP認証取得で苦労したこと＞

○**リスク管理**として、**重油の防油堤設置**が必要となり、経費が高んだ。

○鹿児島県GAPに取り組んでいたこともあり、生産工程管理は当たり前のことという認識で取り組めた。



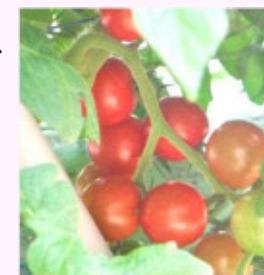
## ＜GAP認証取得による効果や改善されたこと＞

○**JGAP認証取得により**、構成員の意識改革に繋がり、ミニトマトの生産に対する**プライドが芽生えた。**  
○取引先へのブランディングによる差別化。

## 「今後の意向」

○現在、契約販売が98%を占めているが、**更に輸出を含めた契約取引量を増やし、栽培面積を拡大**したい。

○**ホームページによる直売**や**輸出**を目指した販路拡大により、**ASIAGAP認証取得**を検討。



問合せ先  
TEL：0994-24-3131

